

計画の名称	阿倉川駅・駅前整備事業													
計画の期間	令和03年度 ~ 令和06年度 (4年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	四日市市													
計画の目標	四日市市において、四日市市都市総合交通戦略（平成23年10月策定、平成24年3月国土交通大臣認定）に基づき、誰もが利用しやすい公共交通の実現に取り組み、自由に移動し交流できる公共交通体系を確立し、魅力あるまちづくりを実現する。 また、四日市市立地適正化計画（令和2年3月策定）に基づき、公共交通が相互に連携し、都市機能が集積する中心市街地を中心とした効率的な交通ネットワークの構築を図るため、駅周辺の整備などを進め、誰もが利用しやすい環境の構築を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		196	A	196	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3)	中間目標値	最終目標値 (R6末)
1	公共交通の接続点における利便性・快適性を向上させることにより、阿倉川駅の1日当たりの平均乗降客数を現況の4,878人(2018)から、4,976人(2024)に増加する。 阿倉川駅の1日当たりの平均乗降客数を4,878人（H30実績）から4,976人（R6実績）に2%増加	4878人	人	4976人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況									
												R03	R04	R05	R06	R07												
一体的に実施することにより期待される効果																												
備考																												
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	四日市市	直接	四日市市	-	-	都市・地域交通戦略推進事業(阿倉川駅駅前整備事業)	公共的空間の整備 駅前広場整備 A = 670㎡ 自転車駐車場の整備 駐輪場整備 A = 780㎡	四日市市						196	1.01	-									
											小計						196											
											合計						196											

交付金の執行状況

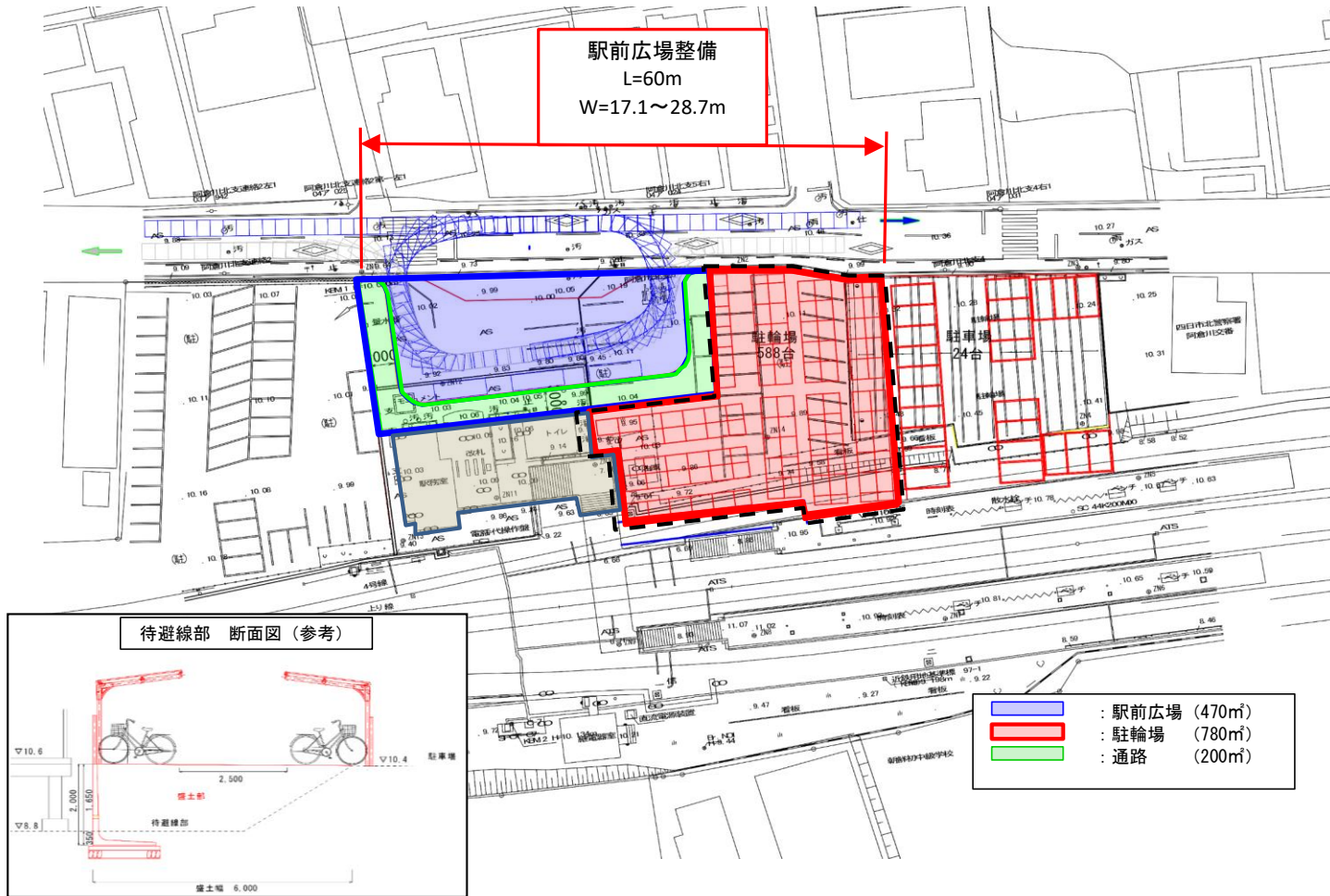
(単位：百万円)

	R03	R04			
配分額 (a)	9	14			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	9	14			
前年度からの繰越額 (d)	0	9			
支払済額 (e)	0	9			
翌年度繰越額 (f)	9	14			
うち未契約繰越額(g)	0	14			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	60.86			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		境界位置の不明箇所が存在したことや、新型コロナウイルス感染拡大防止により、境界確定に遅滞が生じたため。			

(参考様式3)

### 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	阿倉川駅・駅前整備事業	交付対象	四日市市
計画の期間	2021年度 ~ 2024年度 (4年間)		



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 阿倉川駅・駅前整備事業

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○